

令和7年度国立国会図書館予算(案)の概要

(単位:百万円)

区 分	令和6年度 当初予算額	令和7年度 予算額 (案)	比 増 △ 減 額
(組織) 国立国会図書館	20,201	20,426	225
(項) 国立国会図書館	19,147	19,315	168
国立国会図書館の運営に必要な経費	10,241	10,403	162
うち人件費	10,059	10,215	156
国立国会図書館業務に必要な経費	7,816	7,817	1
科学技術関係資料の収集整備に必要な経費	1,090	1,095	5
(項) 国立国会図書館施設費	1,053	1,111	57
国立国会図書館施設整備に必要な経費	1,053	1,111	57

[重点事項]

() は令和6年度予算額

1. 所蔵資料のデジタル化の推進 507百万円 (460百万円)

国立国会図書館が所蔵する多様な資料の保存と利用の両立を図るため、資料のデジタル化を着実に推進する。従来取り組んできた1969年から2000年までに国内で刊行された図書約170万点のデジタル化の完了を目指すとともに、劣化の状況や形態の観点から当館施設内において作業を行う必要がある資料群等についても、デジタル化を実施する体制を強化し、来館せずに利用できるコンテンツの充実に対する国民のニーズの高まりに応える。

2. 照明設備改修(LED化)工事 68百万円 (192百万円)

地球温暖化対策の推進、照明蛍光灯の製造廃止への対応等の観点から、既設の照明設備を改修し、LED照明を順次導入する。おおむね2030年までの完了を目指して、今後も機会を捉えて計画的・継続的にLED照明の導入を進めていくために必要な経費を要求する。

※概算要求額551百万円のうち483百万円については、令和6年度補正予算(第1号)において措置された。

[主な要求内容] 下線の項目が重点事項

(単位:百万円)

区 分	令和6年度 当初予算額	令和7年度 予 算 額 (案)	比 較 増 △ 減 額	備 考
1. 国会サービス経費	282	279	△ 3	
2. 資料費・デジタル化経費	2,527	2,541	13	
(1) 所蔵資料のデジタル化の推進	460	473	13	作業単価等の見直しによる増
(2) 資料費	2,067	2,067	0	
3. 情報システム経費	3,224	3,139	△ 85	
(1) サービス・業務統合システムの運用等	1,404	1,305	△ 99	図書館サービス・業務の基幹的システムのクラウド移行による運用経費の減等
(2) デジタル・アーカイブシステムの運用	741	755	14	国立国会図書館インターネット資料収集保存事業(WARP)のシステム更新
(3) その他(サービス基盤ネットワークシステムの運用、データ入力経費等)	1,079	1,079	0	
4. 図書館業務経費	1,868	1,948	81	当館施設内における資料デジタル化の実施体制強化等
5. 国際子ども図書館業務経費	263	266	3	
6. 関西館業務経費	925	927	2	
7. 人件費	10,059	10,215	156	
8. 施設整備に必要な経費	1,053	1,111	57	
(1) 東京本館庁舎整備	947	693	△ 255	照明設備改修(LED化)工事、東京本館本館事務棟エレベーター設備改修工事等
(2) 関西館庁舎整備	106	418	312	照明設備改修(LED化)工事、関西館電動集密書架改修工事等
(3) 国際子ども図書館庁舎整備	0	0	0	

(注) 計数については、端数において合計と一致しないものがある。